

聖隷福祉事業団SDGs宣言 | Since 2020.7

持続可能な社会の実現と地域共生社会の実現は、社会福祉法人の使命であり、SDGsの理念と合致します。
 聖隷福祉事業団と職員は、SDGsという世界共通の新たな価値観を取り入れて、
 より幸せに暮らし続けられる社会実現のために、2030年に向けて17の目標に取り組みます。

2021年4月1日

理事長

青木善治

聖隷の5つの使命に重なる代表的SDGs 17の目標

SDGsと聖隷福祉事業団の関わり

「聖隷福祉事業団SDGs宣言」で掲げているように、社会福祉法人である聖隷福祉事業団(以下、聖隷)の事業とSDGsの取り組みは親和性が高く、同じ方向を目指しています。SDGsの17の目標、169のターゲットに当てはまる聖隷の事業を以下に紹介します。17の目標全ての達成が求められているという意識を大切にするため、直接当てはまる事業がなくとも、すべての目標を掲示し、聖隷職員の個人的な取り組みも推奨していきます。

すべての人に健康と福祉を



いのちと尊厳のために

目の前の一人ひとりに手を差し伸べられる組織であり続けるために最善を尽くします。そして、地域に根ざし、利用者のいのちと尊厳を守ります。

国連の目標	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する
聖隷の5つの使命	いのちと尊厳のために
関連性	最新の技術・設備・機器や新たな福祉サービスにより、今までできなかった医療・福祉を展開していきます。

聖隷の活動例

- 病院事業
 - 高度救命救急センター、ドクターヘリ事業、地域障がい者総合リハビリテーションセンター、聖隷おおぞら療育センター（聖隷三方原病院）
 - 高度専門医療、総合周産期母子医療センター（聖隷浜松病院）
 - 訪問診療、地域包括ケア病棟（聖隷淡路病院）
 - 回復期リハビリテーション病棟、緩和ケア病棟（聖隷横浜病院）
 - 腎センター、せぼねセンター（聖隷佐倉市民病院）
 - えんげセンター、スポーツ医学センター（浜松市リハビリテーション病院）
 - 訪問リハビリテーション、療養病棟、訪問診療（聖隷袋井市民病院）

■ 保健事業

- 人間ドック、巡回健診等
- 健康経営の普及
- がん検診データの学術的利用
- 遺伝子学的保因リスク者を対象とした遺伝子パネル検査（発症前遺伝学的検査）

■ 在宅・福祉サービス事業

- 特別養護老人ホーム
- こども園、保育所、地域型保育
- 児童発達支援
- 訪問看護
- 障がい者支援

■ 高齢者公益事業

- 介護付き有料老人ホーム
- ACPの導入

■ 法人本部

- がん就労継続支援
- 健康保険組合と連携した健康経営体制の充実

質の高い教育をみんなに



最高のものを

日々の学習を通じ、サービスの開発や改善活動ができる職場を目指します。そして「最高のものを」提供する人材を輩出し、地域に貢献します。

国連の目標	すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
聖隷の5つの使命	最高のものを
関連性	研修、学会、研究発表、資格取得のサポートなど職員がスキルアップできる教育体制を目指すことで、改善活動ができる職場をつくり、最高のサービスを提供します。

聖隷の活動例

- 児童発達支援
 - 障がいや発達につまずきのある子どもたちの生きる力を伸ばし、こころ豊かに育つよう支援します。聖隷こども発達支援センターかみあ、のぞみ園、聖隷かがやき、聖隷こども発達支援事業所かみあ富丘など。
- 内部、外部、海外研修
 - 内部研修…新人研修・2～3年目研修・中堅研修・マネージャー研修・リーダー研修などの階層別職員研修。
 - 外部研修…介護福祉士実務者研修などの外部研修。
 - 海外研修…在宅・福祉サービス事業部や高齢者公益事業部が実施。
- 職員のスキルアップ(学会、研究発表、資格取得サポート)
 - 学会や研究発表会などの開催・参加や、介護資格取得支援対象研修など資格取得のサポートを行っています。
- 奨学金事業
 - 看護師を目指す方への奨学金制度(看護師養成校在学時)と介護福祉士を目指す方への奨学金制度(介護福祉士養成校・日本語学校)があります。
- 特定行為に係る看護師の研修制度
 - 看護師が手順書により特定行為を行う場合に、特に必要とされる実践的な理解力、思考力及び判断力並びに高度かつ専門的な知識及び技能の向上を図るための研修を行っています。

働きがいも経済成長も



未来を築く

職員にとってよりよい職場環境を作ります。また、次世代に繋がる未来へ向けた持続可能な組織づくりと、さらなる健全経営を目指します。

国連の目標	すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する
聖隷の5つの使命	未来を築く
関連性	健康経営の推進、多様な人材の雇用と環境整備、就労訓練を進め、職員にとって働きやすい職場をつくることで聖隷の発展につなげます。

聖隷の活動例

- 医療系産業との連携
 - 企業と協力して医療機器や医薬品の開発をしています。
- がん就労継続支援
 - 2019年4月開始。「多様な働き方」や「長く働き続けられる環境の整備」を推進。がんになっても働き続けられる環境を整え、離職防止を図ります。
- 多様な人材(障がい者・エルダー職員・外国人の雇用)
 - 障がい者、エルダー職員、外国人など様々な背景をもつ人が働く場を設けています。
- 健康推進室設立
 - 2021年10月に職員や家族の健康支援を組織横断的に行うため設立しました。
- 健康経営優良法人認定
 - 2017年より健康経営を推進し、毎年「健康経営優良法人」の認定を受けています。

住み続けられるまちづくりを



地域社会とともに

「地域における公益的な取組」を推し進め、「地域共生社会」の実現に向け取り組みます。また、医療・福祉を通じた「まちづくり」に参画します。

国連の目標	都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする
聖隷の5つの使命	地域社会とともに
関連性	地域における公益的な取組や災害時の対策をすることで、安全・安心なまちづくりを目指します。

聖隷の活動例

- 待機児童対策
 - 保育園・こども園で乳幼児を受け入れ、保護者が「働く」ということを選択できる地域社会の実現を目指しています。
 - 【幼保連携型認定こども園、保育所、事業所内保育所の定員数】2016年度:1,520名→2022年度:2,166名
- 継続的な支援(聖隷びゅあセンター啓田)
 - 児童発達支援センターと就労支援施設を一体整備し、就学前から就労まで途切れのない総合的な支援を提供しています。
- 自治体や地域自治会等との災害時協定
 - 在宅・福祉サービス事業部の一部の施設は市区町村と福祉避難所契約をしています。また、高齢者公益事業部の一部の施設は地域と防災協定を締結しており、地域の防災訓練にも参加しています。
- 市民いきいきトレーナー養成事業
 - 浜松市リハビリテーション病院では、高齢者自身が地域の方々の健康を支えることを目指し、高齢者のトレーナーを養成しています。トレーナーはシニアクラブ、サロン等に出向き、運動機能の維持・向上を目的とした「浜松いきいき体操」の指導を行っています。
- 見守り活動
 - 2020年4月から奈良ニッセイエデンの園では通学路となっている園前の道路で、児童の下校時に入居者・職員による見守り活動をしています。

パートナーシップで目標を達成しよう



利用される人々のために

社会福祉法人として、行政や他団体と連携し「総合化力」を発揮して全ての人々を、人生を通して支援します。

国連の目標	持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化
聖隷の5つの使命	利用される人々のために
関連性	行政や他団体、地域住民と連携し社会的な課題を解決していきます。

聖隷の活動例

- 地域共生社会
 - 公的福祉のみに頼るのではなく、主体的に住民も力を合わせ、その地域で安心して住み続けられる社会を作ることを目指し、困っている人とつながり続け(伴走型支援)、また制度がなくても新たなニーズを見つけ解決していきます。
- 指定管理の受託
 - 公の施設の管理・運営を包括的に代行できる制度により、浜松市リハビリテーション病院や聖隷袋井市民病院などを運営受託し、利便性の向上や合理的経営を通じ利用者サービスの向上に努めています。
- 低所得者向け慈善事業活動
 - フィリピン共和国、聖カプリニ病院の低所得者向け慈善事業活動に対し、医療技術支援、医師を主とする人材育成のための医師派遣を行い、さらに安全管理など手術のみならず当該病院の医療の質の向上に貢献しています。
- 自治体と協力して交通手段を提供
 - 交通面で不便を感じている地域の方々が、聖隷の施設へ来院・来所しやすいように地元自治体と共同して交通手段を提供しています。聖隷横浜病院×横浜市の循環バス。
- 行政との連携
 - 浜松市実証実験参画
 - 静岡県コホート研究参加



貧困をなくそう

国連の目標 | あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ

聖隷の活動例

■ 就労支援

浜松市生活自立相談支援センターつながり、聖隷厚生園ナルド工房、聖隷チャレンジ工房、浜松学園等では、就職ができず貧困に陥る負の連鎖を断ち切るため学習支援や、就職するための準備など就労支援を実施しています。

■ 無料低額診療事業等

救護施設、医療保護施設、無料低額診療事業等、低所得者などに無料または低額な料金によって医療・福祉を提供しています。



飢餓をゼロに

国連の目標 | 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する

聖隷の活動例

■ 食料提供(浜松市生活自立相談支援センターつながり等)

廃棄される食品を必要な方へ提供する「フードバンクふじのくに」に参加しています。

■ 災害対策

SDGsの「ターゲット2.4」に対して、各施設では非常食や水を備蓄し、3日～1週間程度の食事提供ができる体制を整えています。



ジェンダー平等を表現しよう

国連の目標 | ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワメントを図る

聖隷の活動例

■ 育児休職制度

分娩時の出産費用補助(出産育児一時金を超えた分を補助)に加え、お子様の医療見舞金、育児休職最長3年(法律では原則1年)など、充実した制度です。

■ 女性活躍への取り組み

子育てをする職員にとって、より働きやすい環境を提供するため、2009年4月1日から①育児休職期間を1年から3年に延長 ②育児休職の再取得 ③看護職・介護職についてはワークシェア(短日・短時間勤務)を導入し、女性職員が継続就業できる環境整備を行っています。その結果の一つとして、男女の平均勤続年数の差異が1年以内になりました。

■ 婦人科検診補助(聖隷健康保険組合の事業)

20歳以上の被保険者・被扶養者を対象に子宮がん・乳がん検診(年齢によって補助が異なる)の全額補助があります。



安全な水とトイレを世界中に

国連の目標 | すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する

聖隷の活動例

■ オストメイト対応トイレの設置(人工肛門を造設した方用のトイレ)

ストーマ装具の洗浄や汚れ物を洗える設備のあるトイレを設置している施設があります。



エネルギーをみんなにそしてクリーンに

国連の目標 | すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

聖隷の活動例

■ ASSET事業・ESCO事業

省エネにつながる設備更新への補助事業や、省エネ効果の一部を報酬として受けとる事業の情報を共有し、設備更新時に導入の検討をしています。

■ LEDの使用

省エネルギー・温暖化防止委員会にて、聖隷全事業所のLED化率を調査・管理し、LED化を推進しています。

■ 再生可能エネルギーの導入

デイサービスセンターなど一部の小規模施設では、再生可能エネルギーによる電力を利用しています。



産業と技術革新の基盤をつくろう

国連の目標 | 強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る

聖隷の活動例

■ 地域での健康づくり、医工連携取り組みへの参加

浜松ウエルネス・プロジェクト、はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点などに参加しています。

■ オンライン診療

患者が来院することなく、パソコンやスマートフォンを使って専門医にビデオ通話で医療相談・セカンドオピニオンができます。聖隷浜松病院がてんかん及びがん診療に関して行っています。

■ 見守りシステム

高齢者施設の居室に設置したセンサーが利用者を常に見守り、職員が介護から得た情報と実際のデータをすりあわせて介護サービスを提供しています。



人や国の不平等をなくそう

国連の目標 | 国内および国家間の格差を是正する

聖隷の活動例

■ 就労支援(浜松市生活自立相談支援センターつながり・浜松学園等)

就労に必要な生活リズムが崩れている、働いたことがない、働いても長続きしない方に対して、生活習慣を整え、社会参加、就労体験の場の提供、就労活動に向けた準備のための支援を行っています。

■ えるぼし

女性の活躍状況が高く評価され、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」における認定マーク「えるぼし」の3つ星ランクを2016年4月に取得しました。

■ 統合保育

聖隷の保育園・こども園ではハンディがある園児も共に生活し、一人ひとり違うことに気づき互いに認め合います。お互いが大切な存在であることを生活を通して学びます。



つくる責任つかう責任

国連の目標 | 持続可能な消費と生産のパターンを確保する

聖隷の活動例

■ 建物の計画的な大規模改修や建て替え

病院、特別養護老人ホーム、有料老人ホームなどを計画的に改修・建て替えを行っています。2020年浜名湖エデンの園において、大規模有料老人ホームとしては日本で初めての“入居者が住みながらの建て替え工事”が完工しました。



気候変動に具体的な対策を

国連の目標 | 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る

聖隷の活動例

■ 福祉避難所の提供

和合せいれの里などの大規模福祉施設では、通常の入所サービスとは別に、災害発生時に身体などの状況により、通常の避難所では生活が困難な要援護者を受け入れる福祉避難所に登録をしています。

■ 災害現場へ派遣

- ・DMAT(災害派遣医療チーム)
- ・DPAT(災害派遣精神医療チーム)
- ・DWAT(災害派遣福祉チーム)
- ・JRAT(日本災害リハビリテーション支援協会)
- ・災害支援ナース

■ 省エネルギー・温暖化防止委員会

ASSET事業・ESCO事業(目標7参照)の情報収集、LED化推進、空調温度の最適化などを全事業所に呼びかけ、年間CO2削減実績を毎年国に報告しています。

■ クールビズ・ウォームビズの通年化

特定の実施期間を設けることなく、通年で実施。過度な冷暖房に頼らず快適に過ごせるよう気候や個々の事情に応じた服装で業務を行えるよう推進しています。



海の豊かさを守ろう

国連の目標 | 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する



陸の豊かさを守ろう

国連の目標 | 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る



平和と公正をすべての人に

国連の目標 | 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する

聖隷の活動例

■ 暴力・ハラスメント相談窓口(浜松市生活自立相談支援センターつながり等)

利用者が抱える問題の詳細をヒアリングし、必要に応じて行政へ繋げます。

■ 虐待防止への対応

聖隷の施設では行政機関と協力し、子どもや高齢者などの自ら訴えられない方の虐待防止に取り組んでいます。例えば病院受診時に虐待が疑われる怪我等があった場合、院内で組織的に対応し、必要に応じ関連する機関とも連携を図りながら対応をしています。

■ オレンジリボン運動の啓発

毎年11月の「児童虐待防止推進月間」には子ども虐待防止に向けてオレンジリボン運動の普及啓発活動をしています。

聖隷福祉事業団
SDGs宣言 特設ページ



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。